

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①老人クラブや地域各種団体との交流

1・2年生は、合同で七夕会を行った。毎年、この時期が近づくと、保護司会や地域の各種団体の方々が協力して笹や笹飾りを準備して下さる。子どもたちは、自分たちでも短冊や輪飾りなどを作成し、地域の方々と一緒に飾りつけを行った。短冊に願いを込めるとともに、地域の方への感謝の気持ちを育む機会となった。

また、1年生は、生活科「かぞくでいっしょにおしょうがつ」の学習で昔遊びを体験する。毎年、老人クラブの方をお招きして、お手玉・こま回し・竹とんぼ・めんこ・あやとりなどの遊び方を教えてもらっている。子どもたちは、名人を目指して練習に励むとともに、お年寄りとのふれ合いや昔ながらの文化に触れることで、地域に対する愛着を深めることができた。



②バケツ稲を育てよう

本校校区は、住宅地と店舗が大部分をしめており、水田がほとんどない。そのため、5年生は社会科「米の生産」の学習に合わせて、バケツ稲の栽培を行っている。今年も、地域の農家の方からもち米の苗を分けていただき、土の配合や栽培方法を教わりながら取り組んだ。学習のまとめとして、餅料理を作ったり、藁でミニほうき作ったりして、農家の方の苦労や昔の人の知恵を学ぶことができた。



③「六・十の市」の見学

学校の北側の通りでは、毎月「6」のつく日と「0」のつく日に市が開かれ、地域の人に親しまれている。校区探検に行くと、必ず子どもたちは「六・十の市」に興味を示す。実際に買い物をしたり、お店の人や買い物に来ている地域の人たちにインタビューしたりする学習を通して、自分たちの住む町のよさや人々の温かさに気づき、地域とのつながりを深めることができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）